

フィルタリングの方法

「フィルタリングの方法」トレーニングへようこそ。

付属の練習ワークブックをダウンロードして、実際に Tableau を操作してみてください。

フィルタリングの方法

Tableau でフィルタリングを行うには、[フィルター] シェルフから、インタラクティブフィルターから、ビューからと、いくつかの基本的な方法があります。

1 つ目の方法では、[カテゴリ] などのフィールドを直接 [フィルター] シェルフにドラッグします。ここでは [家電] を除外します。

2 つ目の方法は、ユーザーがフィルターを操作できるようにしたい場合に、フィールドを右クリックしてインタラクティブフィルターを使うものです。たとえば、[オーダー優先度] を使って [フィルターを表示] を選択すると、このようにビューに表示されます。

- なお、フィルターは、ビュー内にはないフィールドからでも作れます。このインタラクティブフィルターは、[データ] ペインでフィールドを右クリックして追加しました。
- インタラクティブフィルターを追加すると、そのフィールドが [フィルター] シェルフに表示されます。

3 つ目の方法では、ビュー内でマークやマークのグループをクリックして、ツールヒントにコマンドボタンを表示し、[保持] または [除外] をクリックします。

- ヘッダーのクリックでも、同じオプションが表示されます。
- 棒グラフのように、ヘッダーのあるビューであれば、ダブルクリックするとそのヘッダーだけを保持できます。
- 一部の凡例でも、右クリックして保持や除外を設定することができます。

フィルターの削除

こうしたタイプのフィルターはすべて、[フィルター] シェルフにフィールドを表示します。フィルターを削除するには、シェルフからフィールドを外にドラッグしてください。

その他の情報

フィルタリングは複雑なトピックです。

- ディメンション、メジャー、日付のオプションを含め、[フィルター] シェルフの詳しい使い方については、「フィルターシェルフの使用」のトレーニングビデオをご覧ください。
- インタラクティブフィルターを詳しく説明したビデオもあり、作成方法や、カスタマイズと書式設定のオプションについて紹介しています。
- フィルタリングは、データソースのレコードや行のレベル、集計ビュー、Tableau にデータを取り込む前でも実行できます。詳細については、「Tableau のフィルター実行箇所」のビデオをご覧ください。

コンテキストフィルター、保持と除外の違いといったより深い概念については、「フィルタリングに関するその他のトピック」で取り上げられています。

まとめ

フィルタリングの基本のトレーニングビデオをご視聴いただき、ありがとうございます。引き続き、Tableau の使用方法の無料トレーニングビデオをご覧ください。